

2-3 オレンジピール (ガン肌・ユズ肌)

現象

- 塗面がオレンジの表皮のような凹凸状の塗り肌になる。

原因

- 塗液から塗膜になる過程で、平滑になる前に乾燥してしまう。
- 高粘度で塗装した場合。



環境による要因

【高温】



【風速が速い】



設備・機器による要因

【スプレーガンの口径が大きい(微粒化不足)】
【スプレーガンのパターン不良(清掃不良など)】



塗装作業による要因

【ボディーの温度が高い】
【塗膜が薄い】
【吹付圧が低い】
【吐出量が少ない】
【ガンスピード
が速い】
【ガン距離が遠い】



材料・使用誤りによる要因

【シンナーの選定不適(蒸発が速すぎる)】
【粘度が高い】
【塗料の流展
性が少ない】



対策

- 溶剤の蒸発速度を遅くしたり、粘度を下げるなど、流展性のある塗料状態にする。しかし、行き過ぎるとタレの原因になるので注意する。

処置

- 耐水ペーパー P800～1000で水研ぎし、コンパウンド中目→細目→極細で磨き仕上げる。